

子どもTOSSデー

暑中見舞いの書き方教室



7月14日(土) 平岩地域センターにて、子どもTOSSデーとして「暑中見舞いの書き方教室」を行いました。参加児童8名が、それぞれ心を込めて、はがきをデザインし、夏のお便りを書きました。

東広島寺西郵便局の局長笹本様にもご参加いただき郵便に関するお話をさせていただきました。

1. 始めの会
2. 郵便に関するお話
3. お手紙を書こう
4. デザインしよう
5. 片付け・感想
6. 記念写真

暑中見舞いの
書き方教室の
内容です！



参加者の声

今日は、書いてみて楽しかったです。来年もあったらやりたいです。

かわいいのができてうれしかったです。家でもやってみたいです。いいのができて、とてもうれしかったです。つぎも、かわいいのができたらいいなと思いました。いいけいけんができてうれしかったです。(3年女子)



きょうは、とてもたのしかったです。しょちゃうみまいをうまくかけないかなとおもったけど、うまくできました。また、らいねんあったらいいなとおもいます。

とくにたのしかったのは、デザインをしたことでした。ためしのかみに、うみにしていましたが、やめて、つぎにおもいついたのをれんしゅうせずにかいてみました。とても、なつようになりました。とてもうれしかったです。(1年女子)



暑中見舞いの書き方だけでなく、郵便ボストの移り変わりやハガキを何円で送ることができるかということまで知ることができたので、参加して良かったと思いました。

暑中見舞いのハガキづくりも色々な素材や道具・材料を用意していただき、子ども達が興味を持って意欲的に取り組むことができていました。このような機会を作っていただき、ありがとうございました。(保護者)



■ 郵便に関するお話



ポストの移り変わりについて、寺西郵便局長の笹本様から教えていただきました。木のポストがあったこと、海の中にあるポストもあることなど、興味深いお話でした。



ハガキや国際便の手紙の値段などを教えていただきました。飛行機を使う航空便でも、非常に安価で確実に届く郵便のシステムに子供達は驚いていました。

■ お手紙を書こう



ワークシートを使って「前文」「本文」「末文」「日付」の書く場所や内容について学習しました。本物のハガキに書く前に、ワークシートに下書きをしました。

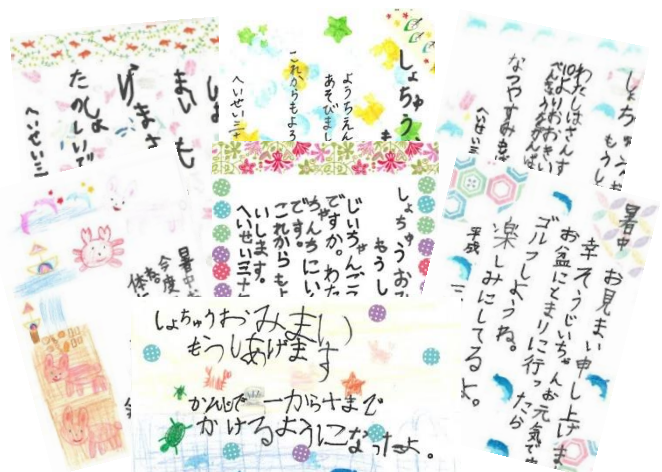


「わたしは、さんすうで10よりおおきいかずのぺんきょうをがんばっています。」「かんじでーから十までかけるようになったよ」など、伝えたいことを書きました。

■ デザインしよう



スタンプや色鉛筆を使って、自分だけのオリジナル出材のハガキを作りました。デザインができたなら、下書きを見ながら手紙を書きました。



マスキングテープやシールで縁取りをしたり、ステンシルシートを使ってスタンプを押したり、折り紙を貼ったりして仕上げました。自分らしい作品ができました。